

法人運営状況について

1 事業計画の振り返り

令和4年度は、物価上昇や人件費の増加へ対応するために利用者の受入れを強化したため、施設移転以来最大の一時的に過去最大の87名（88名満床）となり、収益についても同様に過去最大の2億8,300万円を確保することができた。但し、内訳を見ると、月の平均利用者数は昨年比マイナス1名であり、物価上昇やコロナウィルス対策の補助金等収益、有価証券売却益等といった特別利益が含まれるため、経常利益においては積立可能額としては目標未達となった。

社会福祉充実計画の中で、新規事業について検討も行った。法人所有の松富の土地での障害者グループホームの開設について、ハウスメーカー2社に検討を依頼したが、当該土地の法令上の制限や近隣等の状況から、入居者数10名程度の建物の建築しかできず単体での採算性が見込めず、実施に至らなかった。上記のとおり、救護施設事業については順調ではあるが現時点で収益的には上限に達しているため、事業拡大については、今後も継続的に検討していく必要がある。

その他、経営的な影響が大きかった出来事としては、令和5年2月末から3月末にかけて発生した新型コロナウイルスのクラスターがある。最終的な感染者は、利用者31名、職員7名であった。損失額は、人件費、消耗品費等で、約260万円である。年間で複数回発生した場合のインパクトが大きいため、感染防止策を一層強めていく必要がある。

①法人運営について（ガバナンスの確立に向けて）

職員に対する統制としては概ね順調であり、細則の作成や勤怠システムの本番運用の開始により、勤務状況等の把握が大幅に改善された。年度末に発生したクラスター等の非常事態を除いて、重大な法令違反等の発生はない。

また、内部統制の効率化として、時代に則したIT化を整備していく方針であり、ネットワーク機器を最新のものに更新した。これにより、有害サイトへのアクセス制限や外部からの攻撃に対する防御、内部ネットワーク通信の監視等により情報漏洩の対策が強化されている。

利用者に対しては、支援してく上で不相当と思われる対応等が見受けられたり、職員の対応について利用者から相談があった場合、些細な内容でも虐待防止委員会等で報告され、介護士や支援員等で主催する支援課会議等で細かく議論され自発的に改善が図られてる。

②救護施設事業について

利用者の入所状況については、計画通り推移した。

利用者支援については、新型コロナウイルスの影響により、計画していた就労や内職の開拓、自立度を高める為の新たな取り組み、レクリエーション等は中止となった。但し、居宅生活訓練については例年どおり遂行し、利用者2名が地域移行を果たした。

③収支計画について

事業活動収益が2億8,300万円、利益（積立金）の実質的な額が前期末支払資金残高の取崩額800万円を除き3,700万円と過去最大となっている。但し、利益の内訳として投資有価証券売却益が1,400万円、補助金収益が560万円程度あり単年度の特別利益と考えた場合、実質的な利益としての積立可能額は、1,740万円程度となり、前述のとおり目標積立額の2,000万円には達していない。原因としては、人件費の上昇、物価上昇、前述のクラスター対応が考えられるため、来年度以降も同じ状況となると考える。

2 会議

理事会：

日時：令和4年6月2日

議題：令和3年度社会福祉法人葵寮事業報告、令和3年度社会福祉法人葵寮決算、障害者グループホーム事業の実施について、障害者グループホーム事業実施業務委託先選定委員会、第152回評議員会の開催

日時：令和4年11月17日

議題：令和4年度補正予算、経理規程の一部改正、育児・介護休業等に関する規則の一部改正、第153回評議員会の開催

日時：決議の省略（理事会の決議があったものとみなされた日：令和5年3月22日）

議題：令和4年度 補正予算案及び事業経過報告、令和4年度 施設整備積立金の取崩額の変更及び資金運用状況経過報告、前期末支払資金残高の取崩、令和5年度 事業計画案、令和5年度 予算案、令和5年度 給食業務委託契約の締結、令和5年度 施設整備積立金の取崩、令和5年度 人件費積立金の取崩、令和5年度 資金運用計画案、準職員就業規則の一部改正、施設長の選任、第154回評議員会の開催

評議員会：

日時：令和4年6月24日

議題：令和3年度社会福祉法人葵寮決算、障害者グループホーム事業の実施について

日時：令和4年11月25日

議題：令和4年度補正予算

日時：決議の省略（評議員会の決議があったものとみなされた日：令和5年3月28日）

議題：令和4年度 補正予算案及び事業経過報告、令和4年度 施設整備積立金の取崩額の変更及び資金運用状況経過報告、前期末支払資金残高の取崩、令和5年度 事業計画案、令和5年度 予算案、令和5年度 給食業務委託契約の締結、令和5年度 施設整備積立金の取崩、令和5年度 人件費積立金の取崩

3 法人監事監査

第1回 令和4年5月10日 監査対象期間：令和3年12月～令和4年3月及び令和3年度決算

第2回 令和4年9月26日 監査対象期間：令和4年4月～令和4年7月

第3回 令和4年12月19日 監査対象期間：令和4年8月～令和4年11月

4 苦情解決第三者委員会

第1回 令和4年4月 葵 寮：71

清流荘：10

第2回 令和4年10月 葵 寮：47

清流荘：3

5 社会福祉充実計画

令和4年度の実施状況

No	計画・件名	実施月	予算	支出額	予算比	備考
1	歩行器用倉庫	8		370,700	370,700	
2	居室照明LED化	9	3,000,000	1,853,500	-1,146,500	
3	ガス給湯器取替	11	5,000,000	2,365,000	-2,635,000	
4	居室改修	7	4,500,000	6,006,000	1,506,000	
5	居室家具	7	1,926,100	617,100	-1,309,000	R3の残り
6	居室空調	12	4,000,000	4,048,000	48,000	
7	居室間仕切り改修	1		1,518,000	1,518,000	
8	人員増強	通年	4,000,000	4,000,000	-	内1,500,000はR5へ繰越
	合計		22,426,100	20,778,300	-1,647,800	

計画達成状況	実施期間	充実残額	使用額	残額	
	R3-R7	273,220,000	36,233,380	236,986,620	

6 地域における公益的な取り組み

令和4年度の状況

実施内容：地域向け福祉相談会 新型コロナウイルス流行の為実施せず

救護施設運営状況について

葵寮は、生活保護法第38条の規定に基づき、身体上又は精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な要保護者を福祉事務所の措置により入所させて、生活扶助を行うことを目的とする救護施設であるが、近年は、セーフティーネットとしての機能を果たすべく、障害者だけでなく、ホームレス、DV被害者、触法者など地域において生活することが困難な者なども幅広く受け入れをしている。

また、利用者の自立の助長を図るため、利用者個人の意向をできる限り尊重し、健康で安全な生活ができるよう支援を行っている。

令和3年度の実施状況は次のとおりである。

1 利用者の状況 R5.3.31 現在

(1) 保護実施機関別利用人数 (人)

	袋井市	島田市	藤枝市	三島市	焼津市	静岡市			富士市	富士宮市	沼津市	御殿場市	伊豆市	下田市	県賀茂	伊東市	計人
						葵区	駿河区	清水区									
男	0	8	1	0	4	13	3	5	1	3	3	0	1	0	1	1	44
女	1	5	1	1	1	17	6	2	0	1	1	2	1	0	1	0	40
計	1	13	2	1	5	30	9	7	1	4	4	2	2	0	2	1	84

(2) 年齢別構成 (人)

	40才未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	才	計人
男	1	4	11	18	9	1		44
女	1	2	8	13	12	4		40
計	2	6	19	31	21	5		84

平均年齢 64.9才 (男 63.6 女 66.2)
 最高 男92才 女89才 最低 男40才 女35才

(3) 入所期間別構成 (人)

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計人
男	22	9	5	5	3	44
女	10	14	3	2	11	40
計	32	23	8	7	14	84

平均入所期間 12年1ヶ月 最長入所期間 56年9ヶ月

(4) 障害別構成 (人)

	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害 精神障害	知的障害 精神障害 身体障害	知的障害 身体障害	精神障害 知的障害 身体障害	その他	計人
男	5	31	1	3	1	0	0	3	44
女	11	14	0	11	2	1	0	1	40
計	16	45	1	14	3	1	0	4	84

(5) 月別利用状況 (1日付) ※ () は1日付入所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計人
初日在所者数	84	83	83	83	83	83	83	84	85	85	86	85	(平均) 83.9
入所			1		1		1		(1)		(1)	1	6
退所	入院												
	他施設	1		1							2		4
	社会復帰					1							1
	帰宅												
	死亡												

(6) 一時入所

令和4年度は新型コロナウイルスの影響にて、一時入所の受け入れを中止とした。

2 処遇の状況

(1) 集団支援

集団生活を送るため、起床から就寝まで最小限度の日課を定め、生活に必要な当番、作業、レクリエーション、リハビリ等の活動メニューを用意して、各人が生活意欲をもって過ごせるよう支援した。

(2) 個別支援

利用者ごとに希望要望を取り入れた支援計画を作成し支援を実施している。状況の変化に対応するためモニタリングを行い、常に利用者の立場に立った支援に心掛けた。

(3) 就労自立支援

障害の程度や利用者の特性に合わせて複数の作業から選択して内職作業を行った。

新型コロナウイルスの影響で外勤に向けてのハローワーク、障害者職業センター等を利用する支援はできなかった。

(4) 地域移行支援

施設において自立に向けた訓練を行うとともに、訓練用住居にて、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことにより地域への移行を支援した。令和4年度は2名が参加し、1名はグループホーム、1名は地域生活に移行した。

(5) 地域生活定着支援

地域へ移行した利用者に対しては、居住先を定期的に訪問し必要なフォローを行うことで地域生活が定着するよう支援した。

(6) 食事・栄養サービス

個々の身体的状況に応じた食事内容、病状に対応した食事内容の提供を実施した。

食事とおおして正しい食習慣を身につけ生活習慣病の予防に努めた。

食事は嗜好を配慮し、季節を感じる行事食を取り入れた。

食事とおおした楽しみとして定期的に自己選択できる選択食を実施した。

(7) 健康管理

集団生活をするうえで特に留意する必要がある感染性の疾患については、予防衛生に重点を置き、また年2回の定期健康診断のほか、嘱託医あるいは専門医による検診を随時行い、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

(8) 環境衛生支援

明るく清潔で、静かな生活の場を提供し、衣服、寝具等も常に清潔を保ち、健康の保持と感染症の予防に努め、快適な環境づくりを進めた。

(9) 家族交流支援

両親、兄弟など家族のある者については、家族との連携を深めるため、利用者の日常動作、健康状態、近況、総合意見等生活状況を6月毎に報告した。新型コロナウイルスの影響で家族との面会は時間を制限して行った。

(10) 健康維持・衛生支援

日常活動の行事とし実施している、毎日のラジオ体操と、日に2回の散歩を体力別に3グループに分けて行った。また、運動療法、音楽療法を外部専門家により実施し、心身の健康増進に努めた。入浴は毎週3回行い、希望者はユニットバスを利用し、個別入浴を行うことにより自立を促した。

(11) 教養娯楽活動

情操を豊かにし、運動不足の解消を図るため、施設内で毎週1回舞踊を行い、手芸、カラオケ等を通じて心にゆとりのある生活ができるよう、グループ活動など、教養娯楽の機会を設けた。

新型コロナウイルスの影響で、外出するレクリエーションは人手の多い場所を避けて実施し、夏祭りは短時間で多人数が集まらないよう実施した。

(12) 施設機能の開放

施設の設備・機能の開放や、地域住民や学校等との交流は新型コロナウイルスの影響で中止をした。

- ① 実習生の受け入れは新型コロナウイルスの影響で中止した。

- ② 定期的なボランティアのみ、本人の行動履歴を聞き取り検温と消毒を徹底しながら、受け入れを行った。

(13) 金銭管理

金銭及び貴重品は、1Fダイルームにある個人金庫にて管理をし、自己管理が可能な方は自分用の鍵を持ち、自己管理が難しい方は職員の方でまとめて管理を行った。外出し銀行にて自分で入出金を行う支援は新型コロナウイルスの影響で中止した。

(14) 喫煙

喫煙は決められた時間・場所でマナーを守って行った。

(15) 外出・外泊支援

多人数での移動となるグループ外出は、新型コロナウイルスの影響で中止とした。個人での外出は感染状況に応じて近距離のみとして許可し、徐々に行先を増やしながら実施している。必要物品に関しては職員が代行して購入している。外出が制限されている為、テイクアウト昼食と、軽食とコーヒー等を楽しむカフェを実施した。

外泊は原則中止としている。

(16) 通院・デイケア

新型コロナウイルスの影響で、デイケアは中止している。定期通院は必要に応じて代理や電話でのリモートで行った。

(17) 地域における公益的な取り組み

新型コロナウイルスの影響で中止とした。

3 その他

(1) 防災訓練の実施

①総合防火訓練

年2回、施設内出火の想定で、自衛訓練を実施。避難誘導訓練のほか機材等の点検整備を行った。

(4月・11月)

また、職員の手薄な夜間にも対応できるよう夜間訓練を行った。(7月)

②総合防災訓練

簡易トイレ確認、非常食・非常袋・医薬品・発電機作動の確認を行った。(9月・3月)

※3月はコロナクラスター発生の為中止

③水防訓練

洪水時の避難確保計画に基づき、利用者の避難誘導訓練を行った。(6月)

(2) 利用者との対話会等

- ・利用者の要望、意見を支援に反映させるため、毎月面接相談を実施した。
- ・利用者全体での対話会を年2回実施した。(※苦情解決第三者委員出席)

(3) 職員研修

職員の資質向上を図るため、施設内研修を実施するとともに、外部で実施される研修会にも可能な限り参加した。

・施設内研修

新任研修

消毒剤について

他、外部研修会を受けての内部研修会

・外部開催研修参加 8回（リモート会議含む） 延べ参加者13人

(4) 施設設備整備等

第1号議案の社会福祉充実計画の実施状況のとおり

(5) 慰問・奉仕等の状況

実施時期	慰問者等の住所氏名	慰問等の内容
毎週2回	葵区 大塚様	手芸指導

(6) 物品寄贈

時期	寄贈者等の氏名	寄贈等の内容
6/18	静岡英和女学院	生花
6/24	理事長 斯波幹和様	飲料水
11/5	静岡英和女学院	果物
12/24	静岡雙葉中学校・高等学校	寄付金 クリスマスカード タオル等

令和4年度事業報告に関する付属明細書

該当事項 なし